

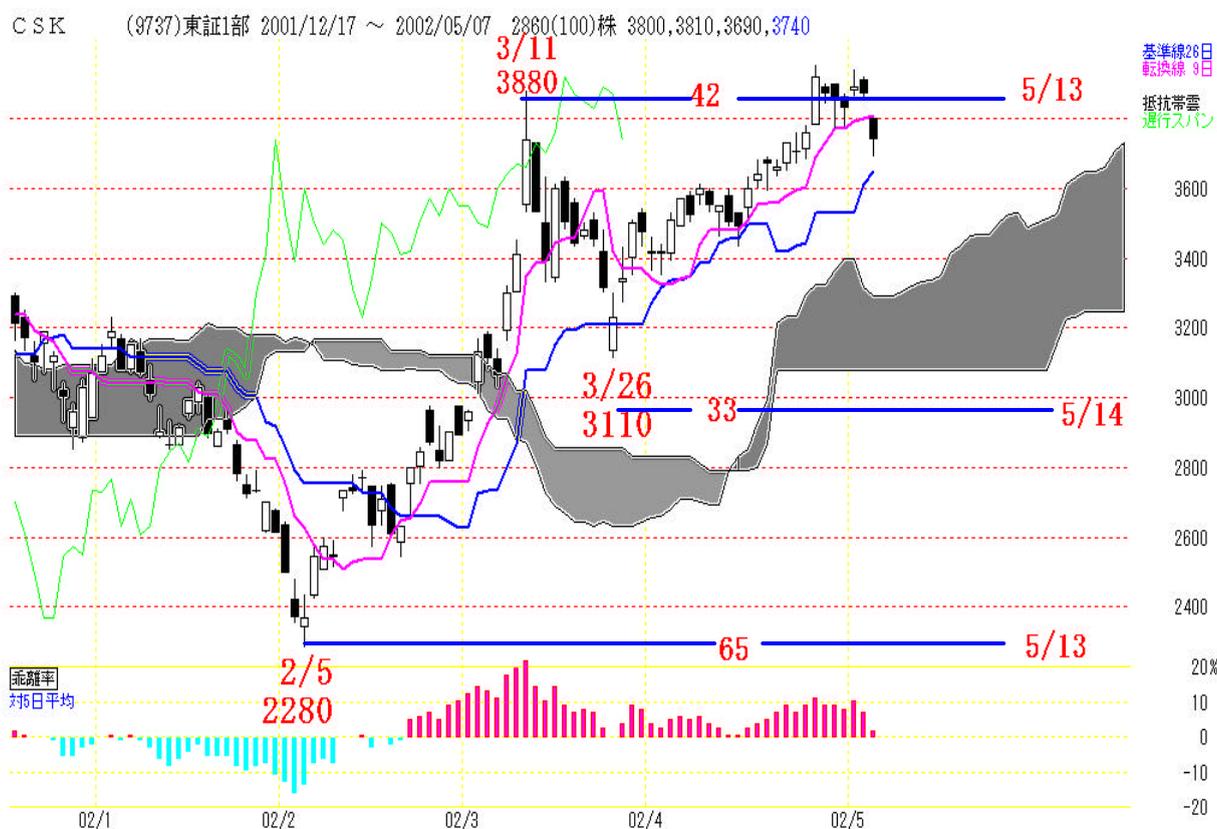
・ 4 2 ・ 6 5 これが基本数値でした。(前回までのレポート参照)

今日も、前回に続き基本数値の使い方についてご説明します。

9737 C S Kのチャートをご覧ください。結論から先に申しますと、複数の基本数値が重複するところが変化日になります。つまり2月5日安値 2280 円から 65 日目が5月13日。3月11日高値 3880 円から 42 日目も5月13日。さらには3月26日安値 3110 円から 33 日目は5月14日。(いずれも立ち合い日数)

3 3も4 2も6 5も、すべて基本数値です。3つの基本数値が2日間に集中していることになります... このように重要な高値、安値に基本数値を順に当てはめていき、それが重複するところが有力な変化日になると覚えておいて下さい。

(無料テレフォンサービス)やさしいチャート教室 03-3669-5552)



Alpha Chart 社製

このレポートは投資の判断となる情報の提供を目的としたものです。銘柄の選択、投資の最終決定は、ご自身の判断でなさるようお願い致します。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。